



謹テ書ヲ伯爵閣下ニ呈ス
 正名平素問候ノ禮ヲ欠クト
 雖モ閣下ト故大久保公ノ厚
 恩ハ曾テ片時モ忘却不仕
 高誼ニ報スル正名カ終身ノ事
 業ニ産業振興ノ外無之ト日
 夜斯事ノ為メニ犬馬ノ勞ヲ
 致シ居候

熟々時勢ノ變遷ヲ察スルニ明
 治二十七年ニ我邦四千万同胞
 ノ協同一致ニ非常ノ奮發ヲ
 以テ國家百年ノ大計ヲ立ツヘキ
 時機ニ到著候事ト存候殊ニ
 此機會ハ再ヒ得ヘカラサルモノト
 相信ニ申候

抑モ明治中興ノ大業タル其目的



相信ニ申候

抑モ明治中興ノ大業タル其目的
トスル所ハ只圓滿ニ立憲君主
政治ノ美ヲ成スニ可有之朝野
萬民ノ目的亦齊ニク此一途ニ
有之候コト天下何人モ疑ハサル
所ニ御座候

幸ニ皇國ノ臣民ハ世界無比ノ
愛國心ニ富メルカ故此目的ヲ果
サシムルニ於テ何等ノ困難モ有之
マシク候ハトモ若モ明治ノ功臣ト
シテ德望赫々朝野ノ重望ヲ負
ハル、先輩諸公ニシテ深ク此ニ
留意セララルニ於テハ邦家ノ進
運ヲ助クルコト復タ幾層ノ大
ナルモノ可有之候

因テ先輩諸公一時ノ感情ヲ排
シ主義ノ異同ヲ論セス互ニ相讓
歩シ日夕相見、手ヲ握リ胸

因テ先輩諸公一時ノ感情ヲ排
シ主義ノ異同ヲ論セス互相讓
歩シ日夕相見、手ヲ握リ胸
襟ヲ披キ至誠和協百年ノ大
計ヲ立定セラレニコト實ニ今日
ノ急務ニシテ中興ノ大目的ヲ
達スル一大捷徑亦タ此ヲ措テ
他ニ求ムヘカラスト愚考仕候
切ニ冀フ吾カ敬愛スル先輩閣
下一時モ早ク廣島ナル大本營
所在地ニ赴キ朝夕
天機ヲ伺ヒ奉ラレニコトヲ時事
切迫難默止候ニ付不顧無禮
敢テ一言衷情ヲ陳ス宜敷御
諒察可被下候泣血頓首

明治三十七年十月廿四日

前田正名

大隈伯閣下